



関西玉龍

第2号 2004年3月1日発行

発行人 関西玉龍同窓会

題字 岩崎照雄(S26年卒)

じっとしては身体に悪い

中村(坂元)みち子(S30年卒)

昨年9月27日、京都リーガロイヤルホテルで関西地区の玉龍高校の同窓会があり、初めて参加させて頂きました。良いテーマの講演会も聞かせてもらい、とても参考になり嬉しい一時でした。

鹿児島を離れて42年がアツという間に過ぎ、鹿児島に帰り桜島眺め、お友達とお茶を飲みながらゆっくり暮らしたいなあ、との夢も子供二人とも関西育ち、老後の事もありと考えておりますうちに、独りぼっちで暮らしている私でした。じっとしては身体に悪いと大阪府の老犬に1年、2年目は福祉ボラン

ティア、シルバーアドバイザーコースで今春卒業の予定です。今グループで取り組んでおります事は特定非営利活動法人(NPO)を立ち上げるための手引き書作りです。それと、身障施設アイホープにボランティアに行っております。

生活信条はアイウエオ。明るく、生き生きと、美しく、笑顔で、面白おかしく物ごとは善意にとり、他人のためになる事を健康の許す限りする事と想っています。

玉龍高校卒業の皆さんの健康と発展を祈っております。

目次:

じっとしては身体に 1 悪い
自然体で*生きたいもの 1 です
知られざるトルコの断面 2
鹿児島ファンデー 3
第7回総会報告 4
会員の近況 5
会計報告 6

自然体で生きたいものです

丸山(武田)順子(S31年卒)

関西玉龍同窓会が始まってこれまで7回、毎年出席させていただいております。

おかげさまで素晴らしい先輩、後輩とお目にかかる事が出来、楽しい時を過ごさせていただけます事を心から御礼申し上げます。

私、京都に嫁せられ、今年(2004年)の10月で44年になります。主人と2月で10歳になるシェパード(体重50Kg)と神戸の須磨区に住んでいます。

仕事人間の主人に乗馬を薦め、3年前から加古川の乗馬クラブに月に一度行っていました。一昨年主人が体調を崩し、しばらくお休みしていましたが、今は神戸市経営の「しあわせの村」に、馬事公苑がある事を知り、週に一度通って

います。主人の健康の為に始めたのですが、主人は私が馬に乗ったり手入れするのを見物です。若いインストラクターに指導をうけ、蹄の裏掘りやポロ(馬糞)の始末、馬装をつけてやっと乗馬となります。加古川では乗馬だけでしたが、馬の手入れからさせてもらえるので「しあわせの村」に変えて良かったと思っています。こっそり角砂糖を持って行って食べさせるのも楽しみの一つです。

これまで動物達のお世話になって来ました。

犬、猫、鳥たち、彼等は私が若い頃、厳格な母の下で自分の意志で生かされなかった私に愛と安らぎを与えてくれました。母に反発して荒んでいた時、無垢な彼等の眼を見るとほっとしたものです。

総会のお知らせ

第8回関西玉龍同窓会の総会、懇親パーティーは7月11日(日曜日)に神戸ポートピアホテルで行われます。これまで土曜日に開催してきましたが「日曜日でない」と出席できないの声が多々ありましたので、今回は日曜日開催にしました。神戸での開催は2回目ですが、今回も同ホテルの政料理長(鹿児島県薩摩郡出身)のお世話になります。

また、メインゲストは「楽しい同窓会作り」をキーワードにもっか人選中です。

昨年、京都での総会で初めて企画しました鹿児島の「物産品即売コーナー」、好評でしたので、今回も出店の予定です。詳しくは次号でお知らせします。

みんな、みんな有り難う！

人間好きです。人は皆お互いに影響を受け、与え合っています。

未だ、終わる事もなく結論もない心理学（ユング）の講座に通ってみたり、カウンセリングの教室に通い、認定書を頂いたりしました。それは私の自己の確立において役に立ちました。それでも自己の完成は生きている間に出来るかどうかわかりません。

暖かい温もりをくれる人や生き物たちにほっと安堵し、感謝しながら生きています。

人生の後半、思い上がりせず卑下もせず自然体で、少しでもまじりに生きて行けたらと考えます。

今年、97歳になられる禅宗の松原泰道様が氏の心の杖の言葉として“生涯修業 臨終定年”とおっしゃって

いますが、なかなか修業が出来ず困っています。

過去の苦労も失敗も在るべくして在ったのです。私が私で在る為に一。若い時の苦労は買ってでもしろと言いますが、歳を重ねた現在の苦労も（まだまだ修業が足りない）神仏の与えたもうた試練と受けとめています。

兄（29年卒）と違って、（旧姓）武田家の（罰当たりな事に母への）反逆児でした。それでも父の意志を受け継いでいる私でございます。

尊敬申し上げます先輩、後輩、皆様のご教導を賜る事が出来ましたら幸甚に存じます。今年も関西玉龍同窓会で皆様とお目にかかる事が出来ます日を楽しみにしております。

知られざるトルコの断面（上）

東 章（S34年卒）

地図の上でも政治的にもヨーロッパであったりと曖昧な扱いを受けているのがトルコだが、それには理由がある。先ず国土がボスボラス・ダーダネルス海峡を境とするヨーロッパ側（トラキアと呼ばれる）とアジア側（歴史上小アジアと呼ばれたアナトリア半島）の両方に跨っていることだ。4年前の地震で大きな被害を被ったイスタンブールはそのヨーロッパとアジアに跨る珍しい都市である。紀元前後のギリシャ時代にはビザンチウム、ローマ時代にはコンスタンチノーブルと呼ばれ、オスマントルコ治下でイスタンブールと改称されたこの大都市はローマ・東ローマ（別名ビザンチン）・オスマントルコという三つの帝国の首都として1600年に亘り栄えてきた。

前置きが長くなったがトルコとヨーロッパとの関わりはローマ帝国の時代から、版図をヨーロッパまで拡大したオスマン帝国の時代を経て現代に至るまで連続と続いている。第2次大戦後はヨーロッパ各地に進出したトルコ人出稼ぎ労働者の定着が進んで、ヨーロッパとトルコの間的人的な繋がりは一層濃厚になっている。しかし国民の99%がイスラム教徒であることもあってトルコ悲願のEU（欧州連合）加盟は未だに成らず、見果てぬ夢となりかねない状況にある。日本人にとってのトルコは地理的に遠い欧州と比べても、近い存在だとは言えない。紙数の都合もありトルコ全般の情報はテレビや出版物に譲ることとして、ここでは「知る人ぞ知る」つまり「一般には余り知られていない」トルコを断片的に取り上げてみよう。『歴史何でも一番』と『キリスト教との関わり』に絞り込んで話題を羅列してみる。

東部アナトリアのウルファには紀元前9000年頃の世界最古

の寺院の遺跡があり南部アナトリアのチャタルフユックには紀元前7500年頃の世界最古の都市跡が発見されている。そこでは紀元前6200年に描かれたと見られる世界最古の風景画、火山噴火の壁画が発見されている。世界で最初に鉄を生み出し、それを馬の蹄鉄に應用して戦争に革命を齎したヒッタイトとエジプトのラムセス二世との間で紀元前1270年に結ばれたカデシュ平和条約は世界最初の国際条約とされる。紀元前700年には後のギリシャ金貨の原型となる金銀の自然合金を使ったエレクトロン貨がリディア王国で作られている。東部アナトリアのハランには世界最初の大学が作られたし、ヘザルフエン・チェレビが世界で始めて翼を付けて空中飛行に成功したのはライト兄弟より250年以上遡る1638年のことである。但しこれらの多くは11世紀に中央アジア方面からアナトリアに侵入してきて定着した現在のトルコ人とは関わりがない。

イスラム教徒が圧倒的多数を占めるトルコがキリスト教に縁が深いという意外に思われるだろうがキリスト教発祥の地イスラエルとは指呼の距離であるだけに結構関わりは深い。旧約聖書で有名なエデンの園は定説ではイラクのチグリス・ユーフラテス両河の合流点にあったとされるがその上流の両河に挟まれたトルコ領内のシャンル・ウルファだとする説も捨てがたい。ユダヤ民族の始祖アブラハムの生地もこのシャンル・ウルファだとされる。また伝説でノアの箱舟が漂着したとされるアララット山はトルコ東部に位置するがノアの箱舟での最後の食べ物とされる雑穀で作られたプリンはアシュレ

という名前で未だに全土で供されている。

古代キリスト教の三大聖地としてエルサレムに次ぐアンティオキア（今のアンタキア）とエフェスはいずれもトルコ領内にある。エーゲ海沿いのセルジュークには聖母マリアの終の棲家があって各国からの観光客が絶えない。聖ペトロと並ぶイエス・キリストの二大使徒、聖パウロはユダヤ人であるがアダナに近いタルソスで生まれている。ユダヤ教の多くの聖典が書かれ又イエス・キリストが喋っていたというアラム語はイラクで使われている現代アッシリア語に引き継がれているとされるが、より原語に近いアラム語がトルコのマルディンに生き残っている。ヨハネの黙示録で有名な小アジアの七つの教会は全て西部アナトリアにあり遺跡が残っている。シリア国境に近いアンタキアの聖ペトロの洞窟教会は世界最古の教会だとされる。奇岩の景観で有名なカッパドキアの洞窟には修道院や教会

など無数のキリスト教の遺跡が残っている。

カトリックの重要な行事、公会議は最近では第21回目が1962年～65年にバチカンで開かれているが、その第1回目が史上有名な西暦325年の『ニケアの公会議』だ。このニケアはイスタンブール南西80キロにある今のイズニックである。第2回目は381年にコンスタンチノーブルで、第3回は431年に地中海のエフェスで、553年の第5回、680年の第6回はいずれもコンスタンチノーブルで開かれている。787年のニケアで行われた第7回会議以降は西欧へ移っている。以上主な事績のみを取り上げたがいかにトルコがキリスト教に縁深いかが分かる。勿論トルコには11世紀以降のイスラム文化の痕跡も濃厚に残っている。（以下次号へ続く）

津崎康文氏が代表幹事に

玉龍など21校が加盟する鹿児島県高校同窓会関西連合会総会が2003年10月18日に大阪・道頓堀ホテルで行われ、これまで会長を務められた関西玉龍同窓会の小倉良隆氏が勇退され、新しく下野三郎氏（近畿鹿商同窓会）が会長に就任。代表幹事に玉龍同窓会の津崎康文氏（昭32年卒）が選ばれました。

6月6日 かがしまファンデー 大阪ドームで西郷輝彦らゲストに

関西鹿児島県人会総連合会主催の「関西かがしまファンデー」が6月6日（日）大阪ドームで開催される。2回目の今年、ゲストは鹿児島市出身の西郷輝彦をメインに鹿屋中央高OBの亀山つとむ・忍のツイズ。他に大阪市音楽団、曾於郡末吉町の鬼神太鼓など多彩。鹿児島の物産、観光のブースには100を超える故郷の店が軒を並べ、幻の焼酎も販売される。鹿児島ツアーなど豪華賞品があたる抽選会もある。入場前売り券1000円（当日1200円）は関西玉龍同窓会事務局などで販売中。

故郷がぐっと近くなる

九州新幹線・鹿児島ルート開通へ

整備計画から30年、着工から12年、九州新幹線の鹿児島ルート、新八代—鹿児島中央駅（これまでの西鹿児島駅）間が3月13日に開通。純白のボデーに赤と白のラインがくっきり的新型800系の「つばめ」が夢を乗せて走りだす。



同新幹線の鹿児島ルートの全区間、博多—鹿児島中央間は257キロだが、今回営業を開始したのは南半分の新八代（熊本県）—鹿児島中央間の127キロで、この区間を35分で結ぶ。鹿児島から博多までは在来線を利用し約2時間10分。全線開通は2013年の予定だが、そうならば大阪から山陽新幹線を利用すると約3時間40分で帰鹿できることになる。

工事中の西鹿児島駅、新「鹿児島中央」駅

第7回総会報告

上野紘一（S36年卒）

関西玉龍同窓会7回目の総会、懇親パーティーが15年9月27日に京都リーガロイヤルホテルで行われた。

来賓の挨拶、同窓会本部の大勝洋祐会長に続いての宮下朝一・現玉龍高校長は「私を始め10人の玉龍OBがいるので、協力して文武両道を基本にして玉龍復活を目指している。鹿児島市長からも『かつての玉龍を取り戻せ』とハッパをかけられている。16年2月には、その具体的指針も発表されることになっている」と近況報告。これには出席者一同、「お願いしますよ」と期待、希望は膨らむばかりだった。

恒例のセミナー。講師は37年卒で関西大卒、福岡市在住の公認会計士・吉水宏氏。『日本経済再生へのシナリオ』をテーマに仕組み、問題点、戦略などを講演してもらった。かねて真剣に勉強するチャンスが少ない我々“生徒”は錆びつき始めた？ 脳ミソをかきまぜて理解するのに懸命。非常に分かりやすい講義は大好評だった。

田中紀代子（旧姓・吉井、34年卒）副会長が場の雰囲気盛り上げての懇親パーティー。全員が“あの時代”にUターンするのに時間はかからなかった。学年ごとのテーブルに談笑の花が咲く。これぞ同窓会の醍醐味だろう。一人1分の約束でスタートした全員スピーチ。今回が初参加5人の方の声を紹介しよう。

高木陽子さん（旧姓・竹内、22年卒）「昨年、帰郷のついでに母校を訪ねたら現役の学生が丁寧に心温まる挨拶をしてくれたのに感動した。後輩に刺激され、ボケないように頑張ろうと思った」

松下実子さん（旧姓・江夏、26年卒）「親にすすめられて玉龍に進学したあの頃を鮮明に思い出した。新たな闘志もわいてきたので頑張ります」

中村みち子さん（旧姓・坂元、30年卒）「吉水先生のお話しを楽しみに来た。アカデミックな雰囲気も味わえたいし、来たかいがあった」

山田登子さん（旧姓・愛甲、35年卒）「きょうという日を大事に生きなくっちゃ、としっかり教えてもらった気がする」

緒方昭雄さん（35年卒）「正直いって来るのが遅かったという思いだ。先輩たちの元気な姿を見ると、まだまだキバランナ、という気持ちになった」

皆さん、昔を回顧し今を語り、明日を支えるエネルギーが生まれる。そんな時間だった。

今回、初の試みとしてつけあげ、ボンタンアメ、かるかん、アク巻き、ツケモン、黒酢など40品目を揃えた『鹿児島の名産品即売』コーナーを設営。懐かしい味を喜んでもらったものと思っている。

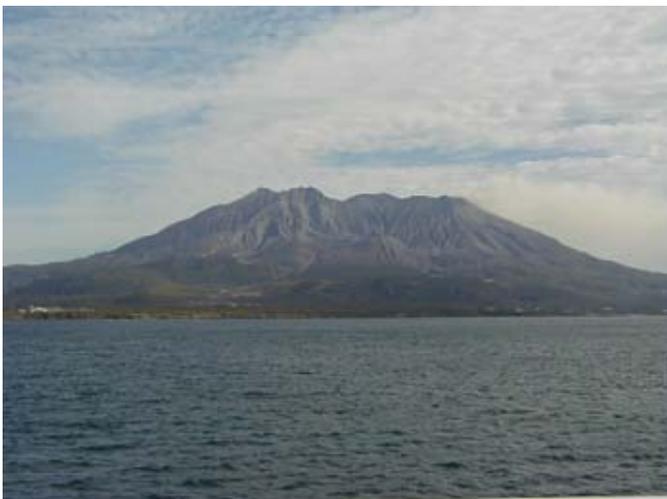
第七回総会で挨拶される岩崎会長と第一期生の仲間たち



会員近況

昨年9月の総会時「欠席」の方々から寄せられた近況報告の一部です。

- ◆元気に暮らしています（名古屋市・山下光生、22年卒）
- ◆上京していて出席できないのが残念です（大阪市・馬渡陽子、26年卒）
- ◆仕事で行けそうにありません。皆さんへよろしく（三木市・吉留一成、34年卒）
- ◆嬉しいお便り有り難うございます。都合が悪くて出席できません。盛会をお祈り致します（富士市・佐藤弘子、34年卒）
- ◆東京で勤務のため参加できません。盛大な同窓会でありますように（川西市・石原章磨、34年卒）
- ◆今回は欠席させていただきます（阪南市・竹山保男、34年卒）
- ◆体調がすぐれず出席できません（富山県西砺波郡・川島恵子、32年卒）
- ◆先約があり出席できません（神戸市・吉川美代子、26年卒）
- ◆2月に胃ガンの手術をしました。転移の心配はありません。外科手術で完治したと思われます。術後6か月、体力の回復に努めています。来年は参加する心算でいます（滋賀県甲西町・長井誠也、26年卒）
- ◆私の指導する合唱団の練習で忙しいです（川西市・正親一郎、26年卒）
- ◆02年12月に父・蜂須賀正昭（21年卒）は他界いたしました。いろいろお世話になりありがとうございました（高槻市・娘さんの溝口哉子さんから）
- ◆相変わらず沖縄での仕事を続けており、関西滞在が少なくごぶさいたしております（宝塚市・緒方正三郎、25年卒）



- ◆私たち25年卒は9月20、21日に淡路島で同期会を開き7名が集まることになっています（大阪市・西元義範、25年卒）
- ◆平成14年6月に夙川駅の近くに転居しました。元気に頑張っております。新住所は 西宮市南郷町1番45号（西宮市・本地川邦重、25年卒）
- ◆申し訳ありません。当日、東日本整形災害外科学会の発表があり欠席させていただきます（東京都・山之内照雄、34年卒）
- ◆母・加藤富子（33年卒）は平成9年4月に亡くなりました（名古屋市・加藤祥子）
- ◆別な予定があり都合が付きません（堺市・東章、34年卒）
- ◆四国旅行とバッティングし誠に残念です（京都府・吉村洋二、34年卒）
- ◆急用ができました。申し訳ありません（大津市・隈元道雄、34年卒）
- ◆住所が一部変わりました。箕面市如意谷4の6の1の803です（箕面市・坂本和代、35年卒）
- ◆定年になり、不動産業を始めて都合が付きません（茨木市・内村彦司・36年卒）
- ◆平成14年11月に鐘化を定年退職し、鹿児島に戻りました。郷里で玉龍会に入ります（鹿児島県始良郡・小城一洋、36年卒）
- ◆6月末でJR東海を退社し、転居しました（名古屋市千種区高見1丁目24の13・江藤文人、41年卒）
- ◆平成17年4月予定の大阪府立3大学の統合問題に振り回されています（堺市・竹下豊、41年卒）
- ◆東京へ転居しました（東京都北区滝野川1の68の7の703・中村恵美子、44年卒）
- ◆神戸市立榎谷小学校教頭として、神戸の子どもたちのために頑張っています（明石市・久保隆、45年卒）
- ◆病院で管理栄養士として働いておりましたが退職し、主婦に戻りました（京都府・大西和子、43年卒）
- ◆今年で55才になりました。少し昔がなつかしくなってきました。近い将来に参加したいと思います（三重県・林壽賀子、42年卒）
- ◆仕事が入り参加できません（京都市・西山由希子、53年卒）

この人の情報を知りたい。この人の情報を知っています。など、皆さんの知りたいことを教えて下さい。

会計報告

第7回総会で承認された会計報告です

14年度 会計報告

関西玉龍同窓会

会計年度 平成14年4月1日～平成15年3月31日

I 収入の部 (円)	
前年度からの繰越金	174,854
会費収入	468,000 (男)32名×10,000円+(女)19名×8,000円(内1名4000)
年会費	240,000 入会者120名@2,000円
幹事会収入	15,160
祝い金	40,000 総会来賓より
特別寄付収入	168,000 総会日席上寄付
雑収入	1,000
利息	18
計	1,107,03

II 支出の部 (円)	
総会費	513,260 リーカ`ロイヤルホテル京都他付帯費
事務消耗品費	4,250 帳簿、伝票、コピー
旅費交通費	111,085 関東、福岡、本部、母校行
通信費	99,640 玉龍会報、県人会案内発送及び第5回総会案内
県人会費	10,000
母校寄付	10,000
振り込み手数料	470
公租公課	2 受取利息に対し
計	748,707

次年度繰越金	358,325
内訳	
通帳残高	357,503
振込口座残高	0
現金	822

平成15年度 収支予算案

関西玉龍同窓会

会計年度 平成15年4月1日～平成16年3月31日

I 収入の部 (円)	
前年度からの繰越金	358,325
会費収入	500,000 (男)34名×10,000円+(女)20名×8,000円
年会費	240,000 入会者120名@2,000
幹事会収入	20,000
寄付収入	150,000
利息	100
計	1,268,425

II 支出の部 (円)	
総会費	550,000 会場ホテル(他付帯費含む)
事務消耗品費	5,000 帳簿、伝票、コピーなど
事務経費	30,000
会報代	12,000
旅費交通費	100,000
通信費	100,000
寄付金	10,000
印刷費	50,000
雑費	1,000
予備費	410,425
計	1,268,425

平成14年度監査報告

標記の件につき、私共監事2名は金銭出納帳及び証憑に基づき厳正に監査致しました。

その結果、適正に処理されていることを確認いたしました。

ここにご報告いたします。

平成15年9月25日

監事 津崎康文 印

監事 松岡 繁 印

編集後記

「関西玉龍」第2号をお届けします。この号から編集担当が少し変わりました。紙面の作り方も少し変わっているかも？

投稿もたくさん頂きました。大変ありがとうございました。そのため一部の方の原稿を上下に分けたり、一部割愛したものもあります。事後承認になりますが、ご了解下さい。

写真も使ってみました。出来上がりはどうなっているでしょう。編集と印刷の担当が違いますので、結果を見ながらの編集がうまく出来ません。これからは試行錯誤をしながらよりよい機関誌にしていきたいと思っております。ご協力よろしく。(F)

関西玉龍同窓会

【事務局の連絡先】

事務局長

丸山宣武(S34卒)

〒612-0878

京都市伏見区深草田谷町1

聖母女学院短期大学

丸山気付関西玉龍同窓会

TEL: 075-643-6781

FAX: 075-643-8786

maruyama@jc.seibo.ac.jp

編集委員長 古里洋津(S33卒)

編集委員 上野紘一(S36卒)

編集委員 池端富子(S47卒)

(旧姓橋本)

印刷 中原政介(S34卒)

送付 茶園征也(S35卒)

原稿募集中!!

関西玉龍同窓会会報編集委員会では、同窓生の皆さんがお書きになった原稿を大募集しています。皆さんの体験記、短歌や俳句など、どんな内容でもかまいません。読者参加型紙面にはなくてはならないものは、まさに読者の皆さんからの投稿原稿です。皆さんご自身の思いの丈を同窓会会報紙に綴ってみませんか。皆さん、ふるってご投稿下さい。

【投稿先】

会報担当・副会長 古里洋津

〒569-0036 高槻市辻子3-16-2

TEL&FAX: 072-671-6901

E-mail: ja3ckn@jarl.com